

主題

読谷惜しい3位

～ 王者・大村工に肉薄 ～

延長8回で敗れる

2014年度全九州高校体育大会は13日、九州各地で行われ、空手道は個人形の男子で島袋佑哉（コザ）、女子で

九州高校総体 2014

與那覇綾子（浦添）が優勝した。ソフトボール男子の読谷は、準決勝で強豪の大村工（長崎）に延長八回タイブレークの末に惜敗して3位となった。ソフトテニスの男子個人で喜瀬和紀・宮里政耶組（名護）が3位入賞を果たした。

読谷惜しい3位

王者・大村工に肉薄



読谷一大村工 五回表 同点となる二塁へのヒットを放つ読谷の伊波翔太＝13日、読谷村運動広場

自信深め全国へ

向かうところ敵なしの強さを誇る全国選抜覇者・大村工（長崎）と熱戦を演じた読谷は、タイブレークの延長8回で惜敗した。守る読谷がパン処理で送球をそらすと、大向かうところ敵なしの強さを誇る全国選抜覇者・大村工（長崎）と熱戦を演じた読谷は、タイブレークの延長8回で惜敗した。守る読谷がパン処理で送球をそらすと、大

ソフトボール
▽準決勝
【男子】
▽準決勝

読谷
0010100002
002000001X3
大村工（長崎）
（八回タイブレーク）

（読）長嶺、奥間、知念貴
▽三塁打 湯手（大）
▽二塁打 永村（大）

。打者が一巡してチームで確認し、バントや安打で攻めた。三回表には上原正人がセーフティスクイズを決めて先制に成功した。三回裏に逆転を許すも、五回には打撃好調な新垣駿が右翼前に運び、3番伊波翔太が外角のライズボールに食らいつき、打球は二塁手の頭上を越え、同点になった。

投手は読谷3本柱の全員が登板し、七回まで2失点に抑えることができた。守りも堅実で投手陣をもち立てた。

九州総体を無安打で終えた4番の熊崎海斗は「主砲として情けない」と悔しかった。しかし、大村工と最終盤まで競り合い、自信を深めたのも事実だ。主将の伊波は「全国制覇したい」と気合をみなぎらせた。（関戸塩）